



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

地域交通はまちづくりの土台！ 「地域公共交通を考える」学習会

4月26日、日本共産党市議団は第2回市政懇談会を市民文化会館でおこないました。

第1回懇談会では市民から春バスの改善を望む多くの声が寄せられました。そこで、埼玉自治体問題研究所事務局長の渡辺繁博氏をむかえて「地域公共交通を考える」学習会を市民16名の参加で実施しました。

地域交通協議会は 市民の意見反映を

現在春日部市は、「地域交通活性化協議会」とパブリックコメントにより、公共交通

の施策を決定しています。

渡辺氏は、協議会について、「委員の知識不足や、公募市民は15名の委員のうち2名だけで、バス利用者など当事者の参加が不足しています。デマンド交通を運営している自治体の多くは協議会に市民の割合が高く、国も、市民の意見が反映されるようにすることを指示しています。」と市民の声を反映する場になっていないと明らかにしました。

健康寿命を延ばし 地域の活力を高める

春バスは近隣他市と比較し

ても利用者が少ない現状です。渡辺氏は「買い物難民が全国で800万人といわれ、免許の返納者も増加するなか、地域交通の重要性への行政の理解が不足しているのではないのでしょうか。」

地域交通はまちづくりの土台です。住民に交通権を保障してだれもが自由に、気軽に移動できる環境や交通手段をつくることは公共の仕事であり、地域交通施策を基本としてまちづくりは健康寿命をのばし、地域の活力を高める、ということを通認識として理解し共有して欲しい。」

「公共交通予算は国から特別交付税として50から80%交付されます。医療、福祉、教育、観光、商工業など他の施策とどう関係しているのかを、財政的にもしっかり検討するという、クロスセクターベネフィットの視点で地域交通施策にとらむことが必要です。」

なぜ春日部市はできないの？ 他の自治体に学んで

渡辺氏は「デマンド交通はどんどん広がっています。今必要なのは、なぜうちの行政はできないのか？という声で、地域の市民ニーズに対応した春バスの改善と同時に、デマンド交通の運行を中心とした市民の意見と運動が必要です。各地域の切実な課題を見える化するなど、確実に市民が使う公共交通をしっかりと作りましょう。」と、交通権の確保にはデマンド交通の実施が不可欠と述べました。

※デマンド交通とは

利用者の場所や時間の希望に応じて利用できる、新しい公共交通サービス。多くは乗り合いタクシーを活用し、県内24市町でも降りできる「ドアtoドア」方式が多い。

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえ TEL737-4576 大野とし子 TEL746-6136 今尾やすのり TEL761-3676 木下みえ子 TEL734-4677
日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



働く者の団結で

第95回 春日部地区メーデー 生活と雇用を守ろう

5月1日、大沼公園で第95回春日部地区メーデーがおこなわれました。当日は雨の中、180人が参加し、「働く者の団結で生活と雇用を守り、平和憲法を活かす社会をつくろう」とメーデー宣言を採択しました。

**共産、社民、立民
そろって参加**

メーデーは、1886年



あいさつする永堀健氏

5月1日にアメリカの労働組合が「8時間労働制」を要求してストライキとデモ行進をおこなったことが始まりと言われています。それが世界中に広がって、日本では1920年に上野公園で第1回メーデーがおこなわれました。

世界でも日本でも100年以上にわたって働く者の生活と権利を守るために力を合わせて来ました。かつては「統一メーデー」と呼ばれ、複数の労働組合が統一して大規模な集会がおこなわれましたが、労働組合の中央組織の再編でそれぞれが開催するようになりました。そうした中、春日部では「地区労」と「春労連」

の2つのナショナルセンターが共同して実行委員会をつくり「統一メーデー」として95回を迎えたことは意義深いものです。

当日は、社会民主党、川辺美信氏(久喜市議会議員)、日本共産党、永堀健氏(衆議院埼玉16区予定候補)立憲民主党、三角創太氏(衆議院埼玉16区予定候補)が来賓として参加し、あいさつしました。日本共産党市議団から並木としえ、大野とし子、今尾やすのり、木下みえ子議員がそろって参加しました。

**時給1500円以上
手取り20万円に**

日本共産党の永堀健氏は「失われた30年といわれる間、労働者の賃金はまったく上がりませんでした。一方、大企業の内部留保金は

2000年には約85兆円でしたが今では500兆円を超えています。

日本共産党は中小企業を直接支援し、最低賃金を時給1500円以上に引き上げます。中小企業が賃上げできるよう大企業にため込まれた内部留保金に年2%課税し、10兆円の財源を確保します。時給1500円になれば、土日休んで1日8時間働けば月20万円の手取りを確保することが出来ます。政治をおもとから変えて、働くみなさんのくらしと雇用を守りましょう」と訴えました。



休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

5/12(日)山本内科医院(内科系)牛島956-1TEL755-7500 一ノ割クリニック(小児科系)

備後東1-28-22TEL731-1771 ようこ皮フ科(外科系)大沼2-62-24TEL612-3555

5/19(日)春日部泌尿器科・内科クリニック(内科系)備後東1-22-32TEL738-6161 在宅診療所

ウエルネス(小児科系)内牧3701-1TEL792-0772 佐藤整形外科(外科系)大場1385-3TEL731-4550